

学校紹介
新聞

茨城県立 下館工業高等学校



◆校長 田中一豪
◆生徒数 574人
◆創立 1962年
◆住所 筑西市玉戸 1336の111

がんばっています！



旋盤実習に取り組む生徒たち

資格取得にチャレンジ



私が所属する機械科では、機械加工、材料試験、溶接、機械制御実習など、手足を動かし、機械や器具を使って作業を行い、ものづくりの基本技術を身につけることができます。旋盤実習や溶接実習は、誤った使用方法や手順を間違えたりすると大きな事故につながってしまう危険な作業が多いため、先生の話をよく聞いて、不明な点があれば、そのままにしないで、安全に取り組むことを心がけています。

また、機械関連の製図、設計、工作などの基本理論を学ぶこともでき、資格取得にも力を入れている学科です。写真は、技能検定試験3級(旋盤作業)取得のために練習をしているところです。私は工業高校の魅力である資格取得に数多くチャレンジし、ジュニアマイスターを取得し、悔いのない高校生活を送りたいと考えています。(2年 高松秀平)



こんな学校です！



積極的に被災地支援のための募金活動に取り組む生徒役員たち

進学や就職 部活で成果



下館工業高等学校は創立60周年を超え、「館工」の愛称で親しまれています。2024年度の学科改編に伴い、「機械科」「電気・電子科」「建設工学科」の3学科となり、特色ある授業が行われています。充実した施設・設備を用いた少人数班による実習を行っており、資格取得も盛んです。多くの生徒が危険物取扱者や電気工事士、施工管理技士や技能検定といった国家資格に多数合格しており、そ

の結果、就職率は常に100%を維持しています。進学者もほかの工業高校に比べて多く、進学も就職もできるハイブリッドスクールとなっています。部活動では、フェンシング部などが全国大会に出場しているほか、年30公演を行うジャズバンド部、ボランティアを行うインターアクトクラブなどが活躍しています。生徒会も被災地支援のための募金活動に積極的です。就業体験やロボット競技大会などの行事もあり、魅力あふれる学校です。(生徒会長 機械科3年 島田聖希)

プログラミング実習に取り組む生徒たち



わが校
独自
オンライン

4月新設、電気・電子科



私の所属する電気・電子科は、4月から新たに設置された、2クラス各40人の科です。1年生では、電気コース、電子コース両方の基礎を学び、2月ごろにコースを決定します。現在は、テストの製作、低周波増幅回路の製作、C言語プログラミング、計測実習などを学んでいるところです。2年生になると、電気コース、電子コースに分かれて、より専門的なことを学んでいきます。私は今のところ、電子コースで学びたいと思っています。資格試験については、第二種電気工事士を2年生の時に全員受験し、工事担任者、技能検定3級、2級電気工事施工管理技士補、第一種電気工事士などのいろいろな資格にチャレンジし、取得することが可能です。私は3年間で、普通科では学ぶことのできないことを学び、多くの資格を取得することにより、自分の可能性を広げたいです。(1年 宮本泰次)

ぐぐっとカリキュラム



建設現場(げんば)を見学する生徒たち=筑西(ちくせい)市内

建設基礎から応用まで



本校建設工学科では、広く深く建設の基礎から応用まで学んでいます。1年生では、工業技術基礎という授業で、オートレベルを使い高低差を、トータルステーションを使い角度や距離を測る測量を行いました。製図では、建築物の平面図や土木のU形側溝図面など、どちらの図面も描きます。ほかにも、建築構造設計や工業情報数理も学びます。2年生では、建築と都市工学の各コースに分かれて1年生のときより専門的な内容を学びます。建築コースでは建築計画、建築構造と建築構造設計を、都市工学コースでは土木構造設計、測量と社会基盤工学を学びます。3年生では、建築コースで建築施工、建築法規と建築構造設計を、都市工学コースで土木施工、土木基盤力学と土木構造設計を学びます。建設工学科では3年間で幅広い内容を学んでいきます。(2年 中澤優月)

次回11月6日 茨城県立中央高校です

いつでも
どこでも

茨城新聞 ダブルプラン

茨城新聞 + 電子版 セット

スマホや
タブレットで

紙の新聞は自宅で読みたい。
県外の出張先でも読みたい。
受験や就活中の子どもにも読ませたい。
そんなあなたにぴったり!

新聞購読料+月額300円(税込)

合計月額4,100円(税込) ※電子版単体の場合は月額3,500円(税込)

電子版の魅力

独自記事 /

デジ缶

紙面に入りきれない内容を提供する電子版オリジナルコンテンツ。日本選手大リーグなどスポーツの話題から政治問題、社会問題まで幅広い旬の話題がぎゅっと詰まった*缶詰。です。

電子版コラム

連載コラム「好文木」(毎週水曜配信)では自慢の執筆陣が独自の視点で県内の話題や世相に斬り込みます。

写真で見る茨城

茨城新聞社のカメラマンが撮ったよりすぐりの決定的な瞬間を紹介します。

速報 /

トップページの「総合」に速報記事をアップ。記事はカテゴリ別に並び、地域面は「県北」「県央」「県西」「県南」「鹿行」に分かれています。お気に入り記事の保存も簡単。

県内情報 /

県教職員人事は学校名や先生名ですぐに検索ができます。釣り情報は県内の各釣場でも何が釣れるかが分かって便利。イベント情報はどこよりも詳しく、近県情報も盛りだくさん。

紙面ビューア /

新聞の紙面をスマホやタブレットで読める機能です。バックナンバーは過去1カ月分に対応。気になった記事はクリッピング機能で保存できます。クリッピング機能とは紙面の保存サービスです。



(ダブルプランお申し込み時の注意事項)

- ご自宅で茨城新聞を販売店から定期購読している個人の読者様限定です。 ■茨城新聞のご購読が確認でき次第、電子版のご利用ができます。県外の方は利用できません。
- お申込みは購読者ご本人によるインターネットからの申し込みとさせていただきます。 ■茨城新聞をご契約の販売店が新聞購読料と合わせて集金します。
- 電子版の利用期間は月単位となります。月中でのお申込みの場合、その月は無料で利用できます。また、電子版の日割り精算は受け付けておりません。
- 茨城新聞電子版はAndroid、またはiOS用のアプリになりますので、基本的にパソコンでご覧になることは出来ません。

茨城新聞ダブルプランのお申し込みはこちら→

【お問い合わせ】茨城新聞社販売局 Tel.029(239)3030 平日9:30~17:00

